

登園許可書

学校法人双葉学園 理事長 太田鉄三 殿

クラス

園児氏名

《主治医の先生へ》

下記の病名で該当するものに○をお願い致します。また、園生活を送る上で、特記事項がありましたらご記入をお願い致します。

<第2種>

麻疹(はしか)・風疹・水痘(水ぼうそう)流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)・百日咳
結核・咽頭結膜熱(プール熱)(アデノウイルス感染症)・髄膜炎菌性髄膜炎

<第3種>

流行性角結膜炎・腸管出血性大腸菌感染症(O-157など)・急性出血性結膜炎・帯状疱疹
溶連菌感染症・マイコプラズマ肺炎・アタマジラミ症・伝染性紅斑(リンゴ病)・手足口病
ウイルス性胃腸炎(ノロウイルス、ロタウイルスなど)・ヘルパンギーナ・突発性発疹症
RSウイルス感染症・その他()

登園許可日 年 月 日から登園可能とします。

(特記事項)

年 月 日

医療機関名

医師名

印又はサイン

《保護者の方へ》

認定こども園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発生や流行を出来る限り防ぐことで、一人一人の子どもが快適に生活出来るよう、登園許可書の提出をお願い致します。

また、裏面をお読み頂き、集団での園生活が可能な状態となってからの登園であるようご配慮下さい。状況に合わせて医療機関と連携をとる事もありますので、ご理解頂きますようお願い致します。

※インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症については、登園許可書は必要ありません。

※とびひ(伝染性膿痂疹)・水いぼ(伝染性軟屬腫)については、登園許可書は必要ありませんが、病変部をガーゼや絆創膏等で覆うなどの処置をして下さい。特にとびひの場合は、広範囲の場合や患部を覆えないときは登園出来ません。

○第2種の感染症

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻しん(はしか)	発症 1 日前から発しん出現後の 4 日後まで	解熱後 3 日を経過してから
風しん	発しん出現の前 7 日から後 7 日間くらい	発しんが消失してから
水痘(水ぼうそう)	発しん出現 1~2 日前から痂皮形成まで	すべての発しんが痂皮化してから
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	発症 3 日前から耳下腺腫脹後 4 日	耳下腺、頸下腺、舌下腺の腫脹が発現してから 5 日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで
結核		医師が感染の恐れがないと認めるまで
咽頭結膜熱(プール熱)(アデノウイルス)	発熱、充血等症状が出現した数日間	発熱、充血等の主な症状が消失した後 2 日経過してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3 週間経過するまで	特有の咳が消失する又は 5 日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで

○第3種の感染症・その他

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後 1 日間	抗菌薬内服後 24~48 時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑(リンゴ病)	発しん出現前の 1 週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎(ノロ、ロタ)	症状のある間と、症状消失後 1 週間(量は減少していくが数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要)	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間(便の中に 1 か月程度ウイルスを排泄しているので注意が必要)	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RS ウィルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	水疱を形成している間	すべての発しんが痂皮化してから
突発性発しん		解熱後 1 日以上経過し機嫌が良く全身状態が良いこと
アタマジラミ		駆除終了時に登園許可書の特記事項に駆除完了を記入してもらい提出
流行性角結膜炎	発症後から約 2 週間	感染力が非常に強いため結膜炎の症状が消失、医師により感染の恐れないと認めるまで
腸管出血性大腸菌感染症(O157、O26、O111等)		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48 時間をあけて連續 2 回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	発症後から約 1 週間	医師により感染の恐れがないと認めるまで

○登園許可書は必要ありません

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
とびひ(伝染性膿痂疹)	水疱や膿疱を形成している間	病変部をガーゼ等で覆うなどの処置がとれること。広範囲の場合や患部を覆えないときは登園不可
水いぼ(伝染性軟臓腫)	湿疹が形成されている間から浸出液が出て数日	病変部を衣類やガーゼ等で覆うなどの処置がとれること
ヒトメタニューモウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
インフルエンザ感染症	発症前 24 時間から発症後 7 日頃まで	発症した翌日から 5 日を経過し、かつ解熱後 3 日経過した後
新型コロナウイルス感染症	発症後 5 日間	発症した翌日から 5 日を経過し、かつ症状が軽快した後 1 日を経過した後